

～ オーバードーズという現象から考える若者支援～

見えない傷と 向き合う

厚生労働省の調査によると、中学生の約2%が
薬物のオーバードーズ（OD）を経験していると報告されています。
当団体にも「やめたいのにやめられない」と苦しむ本人から多くの相談が
寄せられており、日々支援を続けています。
背景には虐待やDVなどにより家族関係が不安定なケースが多く、10代後半で実家を
離れても、心身の不調や経済的困難から社会生活が難しい現状があります。
日常的なODや入院を繰り返し、退院後も実家以外に選択肢がないなど、
受け皿は極めて不足しています。

こうした現状を踏まえ、私たちは「薬物依存から回復できる見守り支援体制」を
全国各地で構築していきたいと考えています。

その一環として、参加型の啓発シンポジウムとネットワークづくりを進め、
支援を必要とする若年女性を地域の支援者につなげたいと考えています。

“すぐやめなくてもいい。やらなくてもいい日を増やしていけばいい。”

医師・各専門家・支援者・仲間など、信頼できる大人たちがチームを組み、
見守っていくことのできる体制作りを目指します。

まずは、当事者や支援者の抱える現状や課題を共有し、
一緒に考えてみませんか？

symposium

東京・北海道・大阪・福岡で開催します！

各団体の活動紹介

パネルディスカッション

パネルディスカッションや、会場にて参加者のみなさまと意見交換も行います

制作映像の放映

当事者、支援者、研究者、医師の声を通して
オーバードーズの痛みと葛藤、支援の可能性と課題を描いた映像



街頭アウトリーチ中の
BONDプロジェクト

札幌

2025年11月15日(土) 13:00-15:00

会場定員40名

ACU (中研修室1605)

札幌市中央区北4条西5丁目アスティ45

【登壇者】

特定非営利活動法人BONDプロジェクト 理事長 橘ジュン

特定非営利活動法人リカバリー 理事長 大嶋栄子 氏

公益財団法人さっぽろ青少年女性活動協会 橋本彩加 氏

大阪

2025年11月29日(土) 13:00-15:00

会場定員40名

大阪府立男女共同参画・青少年センター/ドーンセンター (セミナー室1)

大阪市中央区大手前1丁目3番49号

【登壇者】

特定非営利活動法人BONDプロジェクト 理事長 橘ジュン

薬物依存症回復施設「大阪タルク」OD倶楽部コーディネーター 倉田めば 氏

認定NPO法人DXP 新規事業部マネジャー 野津岳史 氏

東京

2026年1月24日(土) 13:00-15:15

会場定員70名

TKP池袋カンファレンスセンター (ホール5A)

豊島区南池袋2-22-1 第3高村ビル

【登壇者】

特定非営利活動法人BONDプロジェクト 理事長 橘ジュン

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター薬物依存研究部 心理社会研究室長 嶋根卓也 氏

更生保護法人 静修会 (更生保護施設静修会 荒川寮) 施設長/保護司 福田順子 氏

福岡

2026年2月21日(土) 13:00-15:00

会場定員40名

SPACE on the Station

福岡市中央区天神2丁目11番3号ソラリアステージビル6F

【登壇者】

特定非営利活動法人BONDプロジェクト 理事長 橘ジュン

NPO法人あいむ 代表理事 藤野壮子 氏

NPO法人TFG 更生保護施設 理事長 工藤良 氏

information

こちらはネットワーク構築を目的とした参加型のシンポジウムになり、
厚生労働省 令和7年度 依存症民間団体支援事業の一環として開催いたします。
名刺とご所属の活動がわかるパンフレット等がありましたらご持参をお願い致します。

1 対象

医療、福祉、教育、依存症、自殺対策、女性支援に従事する方々

2 参加費

無料 お申し込みはQRコードから

3 会場

会場とオンラインのハイブリッド開催

※オンライン参加の詳細は申込後にご案内します。カメラオンでご参加ください。

